

氏名	枝 廣 徹
学位の種類	医学博士
学位授与番号	博甲第 777 号
学位授与の日付	平成元年 9月30日
学位授与の要件	医学研究科病理系寄生虫学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	<b>Analysis of chironomid allergens using specific T cell lines and clones in humans</b> (ユスリカアレルゲンの抗原特異的ヒトT細胞株及びクローンを 用いた分析)
論文審査委員	教授 金政泰弘      教授 木村郁郎      教授 新居志郎

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

アレルギーの発症にはT細胞を介した細胞性免疫の関与が証明されている。主要な環境アレルゲンの1つであるユスリカ抗原のT細胞認識部位を解析するため、アカムシユスリカ成虫抗原(TAA)を用いてヒトT細胞株及びクローンを誘導・確立した。得られた細胞株・クローンは全てTAAに強い反応性を示し、ゲル濾過によるTAAの分画抗原に対しては高分子量域(>15,000)に対し反応性を示した。これら9クローンのうち、セスジユスリカ成虫抗原(CYA)及びアカムシユスリカ幼虫抗原(TAL)にも反応性を有するものが5株、TALにも反応するがCYAには反応しないものが3株、TAL・CYA何れにも反応しないものが1株あった。このような反応パターンより、TAAには少なくとも3つの異なるT細胞認識部位が存在することが考えられ、又、それぞれが異なった分子量分画に存在することを観察した。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

ユスリカ抗原のT細胞認識部位を解析するため、アカムシユスリカ抗原(TAA)を用いてヒトT細胞株及びクローンを確立し、その反応性を詳細に検討した。反応はTAA高分子抗原に対して強く、TAA以外の抗原も併用して検討した結果、TAAには3つの異なるT細胞認識部位が存在するという重要な知見を得ている。

よって本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。